

(総合型選抜 I)

令和 5 年度入学試験問題

小 論 文

( 農学生命科学部 国際園芸農学科 )

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙 1 枚と下書き用紙 1 枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の 1 つのます目に 1 文字ずつ入れること。数字・記号・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

図1は世界の米と大豆の生産量と消費量の「1999-2001年」の年平均と「2011-13年」の年平均、そして2024年の予測結果を地域別に示したものである。また、図2は主な穀物等の生産国別生産量割合(2008年)を、図3は主な農産物等の生産量に対する輸出量の割合(2008年)を示したものである。

図1から読み取れる米と大豆の生産量と消費量の特徴について、年平均の変化と地域別の視点から図2と図3を参考にしながら述べなさい(800字以内)。

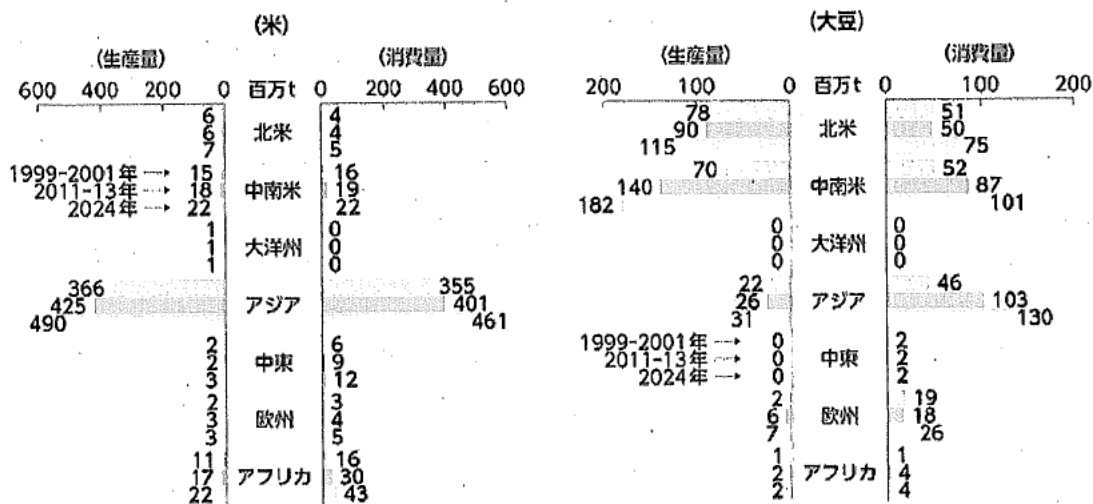


図1 世界の米と大豆の生産量、消費量の推移と見通し

出所: 農林水産政策研究所「2024年における世界の食料需給見通し—世界食料需給モデルによる予測結果—」

資料: 平成27年度 食料・農業・農村白書(平成28年5月17日公表)の図を一部改変

[https://www.maff.go.jp/wpaper/w\\_maff/h27/h27\\_h/trend/part1/chap1/c1\\_2\\_01\\_2.html](https://www.maff.go.jp/wpaper/w_maff/h27/h27_h/trend/part1/chap1/c1_2_01_2.html) (2022年9月14日閲覧)

著作権の関係上、省略します。

図2 主な穀物等の生産国別生産量割合(2008年)

出所: 米国農務省「PS&D」

資料: 平成21年度 食料・農業・農村白書(平成22年6月11日公表)の図を一部改変

[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12232574/www.maff.go.jp/wpaper/w\\_maff/h21\\_h/trend/part1/chap1/c1\\_01.html](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12232574/www.maff.go.jp/wpaper/w_maff/h21_h/trend/part1/chap1/c1_01.html)

(2022年9月14日閲覧)

著作権の関係上、省略します。

図3 主な農産物等の生産量に対する輸出量の割合（2008年，世界計）

出所：米国農務省「PS&D」

資料：図2と同じ